



# 関西医科大学 広報

*Kansai Medical University Public Relations*



## 建学の精神

本学は、慈仁心鏡、すなわち慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを建学の精神とする。

## 輝かしい未来に向けて

附属滝井病院新築・整備工事起工式挙行



7月2日、附属滝井病院新本館建築敷地において新築・整備工事起工式が厳かに執り行われました

## CONTENTS

法人		卒後臨床研修センター	25
附属滝井病院新築・整備工事起工式 事業報告	2	附属看護専門学校	26
大学		同窓会	
入試概要 解剖体追悼法要 科研費交付内定者	8	須藤昭子先生の軌跡	27
病院	22	メディア情報・お知らせ	
		今年の創立記念日	28

## 法人

## 「関西医科大学附属滝井病院新築・整備工事 起工式」挙行



気合の発声とともに鋤を入れる山下理事長

7月2日(水)午前10時から、附属滝井病院旧本館跡地において「関西医科大学附属滝井病院新築・整備工事起工式」が挙行されました。この日は朝から絶好の晴天に恵まれ、山下敏夫理事長、岩坂壽二附属滝井病院病院長(常務理事)、澤田敏常務理事をはじめ、本学理事・評議員・附属滝井病院関係者、並びに西端勝樹守口市長、和仁春夫守口市議会議員、生野弘道守口市医師会会長などの地元関係者、さらに設計・施工に携わる株式会社日本設計六鹿正治取締役会長、株式会社竹中工務店門川清行取締役執行役員副社長など51名の来賓が列席。厳粛な雰囲気の中神官が恭しく奏上する祝詞に耳を傾け、新築・整備工事の無事を祈りました。

また、神事の終了後11時からは隣接会場で直会を開催。

山下理事長の挨拶及び、西端守口市長や設計・施工者の挨拶に続き生野守口市医師会長の乾杯のご発声により開宴、和やかな会話に包まれ、参加者がにこやかに談笑する姿が目立ちました。

2012年からスタートした“附属滝井病院リニューアル事業計画”も、昨年10月から旧専門部学舎解体工事が始まり、今年6月からは新立体駐車場の供用が開始。いよいよ第Ⅱ期工事として新しい本館の建設が始まります。今後は2016年5月の新本館開設、第Ⅲ期工事・ホスピタルガーデン造成工事、及び南館・北館の改修工事のスタートを経て、2017年12月のグランドオープンに向けて、診療体制を維持しながら安全な施工を心がけ事業を進めていくこととなります。関西医科大学の、さらなる力強い進化にご期待ください。

『関西医科大学広報』は、今後も附属滝井病院リニューアル事業の進捗を継続して取り上げます。

起工式を終えて、岩坂病院長に以下のとおりコメントをいただきました。

## 「起工式を終えて」 岩坂壽二附属滝井病院病院長

今回のリニューアル計画では(附属滝井病院の)医療センター化を進めており、その目的にあった施設を目指しています。そのため完成後は、本法人で初の医療センターとして機能すること、大学附属病院として高度先進医療を率先することが重要です。また、(様々なスタッフが相互に連携して治療を行う)リエゾン医療のさらなる展開を目指し、患者さんには安心できる医療環境を、職員には心の通った職場作りを実現したいと考えています。逆にスタッフの皆さんには、“明るく円を描くような絆”つまり発生源がどこであっても円を描くように全てのスタッフで解決できる組織を作って欲しい。リニューアル事業のハードにもソフトにも、“心”を入れて欲しいです。

リニューアル事業が完成するまで、近隣の皆様には騒音などでご迷惑をおかけするかと思いますし、患者さんにもご不便をおかけすることが多々あるかと思います。職員一同、工事期間を厳守してできるだけ騒音に対応するよう、そして心安らかに療養していただけるよう、努力する所存です。

## 滝井リニューアル NOW

附属滝井病院リニューアル事業計画の進捗をお伝えします。

## Topics

- 起工式が執り行われました。
- 立体駐車場の供用を開始しました。



24時間利用が可能です。

## 立体駐車場供用開始

附属滝井病院リニューアル事業計画の一環で旧専門部学舎4号館、10号館跡地に建築していた立体駐車場がこのほど完成し、6月1日(日)から供用を開始しました。

当駐車場は第1駐車場147台(立体駐車場)、第2駐車場12台(身障者専用)及び第3駐車場22台、計181台の駐車が可能で、管理運営を全てタイムズ24株式会社に委託しています。

料金は入場より1時間は500円、以降1時間200円となっており、患者さん向けには優待料金が設定されています。



## 法人

## 就任の挨拶

## 胸部心臓血管外科学講座小児心臓外科担当診療教授に就任して

胸部心臓血管外科学講座 小児心臓外科担当 診療教授 金本 真也



7月から、胸部心臓血管外科学講座小児心臓血管外科担当の診療教授に就任しました、金本真也です。どうかよろしくお願いたします。湊直樹主任教授のもと、関西医科大学ならびに地域における小児診療の発展に誠心誠意努力する所存でございます。

生まれてくるお子様のおよそ100人に1人は、心臓に何らかの先天的な異常、すなわち先天性心疾患(Congenital Heart Disease; CHD)を持っているといわれています。先天性心疾患の外科治療は、今から60年ほど前に始まった比較的歴史の新しい外科の分野です。先人達の努力のお蔭で、その治療成績は向上しており、2011年の全国調査では日本国内の小児心臓手術の死亡率は2.4%と世界的に見ても非常に低い数値となっております。疾患によっては、手術後に正常な子供たちとほぼ変わらない生命予後が期待できるといわれており、手術の質も向上しています。反面、救命率の改善とともに、小児期から成人期に到達する成人先天性心疾患患者(Adult Congenital Heart Disease; ACHD)の方々の増加が問題となっております。かつては小児が対象であった先天性心疾患の医療は、今や成人も対象とする幅広い診療分野へと変化しつつあります。

先天性心疾患の治療には、病院内の様々な分野の方々が関わっています。治療成績向上のためには、小

児心臓外科だけではなく、病院全体が一致団結してチームとして診断・治療に取り組む必要があります。先天性心疾患の治療は、こども達が生まれる前から始まり、そして子供たちが成人となっても続きます。このようなチームを作り上げるためには、皆様のご協力が是非とも必要となります。

医療を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、医療の質はもちろんの事、コストパフォーマンスを要求される時代となりました。小児心臓外科に投入される医療資源は莫大であり、高度の専門的知識を要求される割に、得られる金銭的見返りは多くありません。しかし、こども達は、未来の社会を担ってくれる貴重な人材です。小児心臓血管外科担当診療教授として、こども達の輝かしい未来のためにも、全力で取り組んでいきたいと考えております。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願申し上げます。

## — 略 歴 —

平成4年3月	筑波大学医学専門学群卒業
平成4年6月	筑波大学附属病院外科医員(研修医)
平成7年4月	日立製作所日立総合病院心臓血管外科医員
平成8年10月	神奈川県立こども医療センター胸部外科医員
平成14年4月	岡山大学附属病院心臓血管外科見学生
平成14年5月	福岡市立こども病院・感染症センター研修生
平成14年7月	茨城県立こども病院心臓血管外科医員
平成16年7月	University of Pennsylvania(USA) Postdoctoral Research Fellow
平成18年7月	茨城県立こども病院心臓血管外科医員
平成19年7月	筑波大学附属病院 病院講師
平成23年12月	筑波大学医学医療系 講師(心臓血管外科)
平成26年7月	関西医科大学胸部心臓血管外科学講座小児心臓外科担当診療教授

## 産科学・婦人科学講座婦人科内視鏡外科担当診療教授に就任して

産科学・婦人科学講座婦人科内視鏡外科担当 診療教授 北 正人



平成26年6月1日付けにて、関西医科大学産科学・婦人科学講座婦人科内視鏡外科診療教授に就任いたしました北正人と申します。神崎秀陽主任教授のもと、本学の診療・教育・研究の発展に貢献できるよう、尽力する所存です。よろしくお願申し上げます。

私は産婦人科一般研修と生殖内分泌研究の後、国立京都病院杉並洋博士(元愛媛大学助教授)より婦人科腹腔鏡を学び、京都大学藤井信吾教授より悪性腫瘍手術を学びました。その後、神戸市立医療センター中央市民病院で主に悪性腫瘍診療と腹腔鏡手術に従事し、同院は近畿を代表する婦人科悪性腫瘍・腹腔鏡手術施設となりました。

この度、本学産科学・婦人科学講座で悪性腫瘍・腹腔鏡手術診療科新設に際し、自分の仕事の集大成のつもりで参りました。

手術の安全性・有効性・低侵襲性の向上は、患者の願いであり、外科医はそれに応える義務があります。内視鏡手術の技術や機器の進歩のスピードはとても速く、適応拡大・技術革新・時間短縮が絶えず続いています。当科がそのトップグループに入り、それを維持し続けるために精進し続ける所存です。

また、婦人科悪性腫瘍に対する内視鏡外科は、泌尿器

科・消化器外科などに比べ保険適応が遅れております。安全・確実な手技を確立し、先進医療を取得し、標準医療として普及させねばなりません。

そして、従来の内視鏡手術の限界を超える可能性をもつロボット支援手術にも取り組んで参ります。本学でも泌尿器科などで本格的に稼働しているda Vinciを婦人科にも導入します。また、日本は産業ロボットの技術開発・生産で世界をリードしています。神戸医療産業都市参画企業と現在開発を進めている国産手術支援ロボットを早く実用化したいと考えております。

本院は、臨床能力が高く、それを支援するシステムも充実した医科大学病院です。本学に赴任しましたことは、上記の課題を解決するまたとない機会を得たと考えております。関連各科の先生方、看護師・コメディカルの皆様、病院・大学事務の皆様のご支援・ご指導をお願いいたします。また、若い先生や学生の積極的な参加を大いに期待します。

## — 略 歴 —

昭和61年3月	京都大学医学部卒業
昭和61年6月	京都大学医学部婦人科学産科学講座入局
平成8年1月	国立京都病院勤務
平成11年5月	京都大学医学部助手
平成14年6月	MDアンダーソン癌センター visiting professor
平成14年8月	神戸市立中央市民病院 (現 神戸市立医療センター中央市民病院) 医長
平成19年4月	同部長
平成26年6月	関西医科大学産科学・婦人科学講座婦人科内視鏡外科担当診療教授

## 平成25年度事業報告

「平成25年度事業報告」が5月28日(水)の理事会・評議員会で報告されました。  
法人全体概要については以下の通りです。

### ◆法人全体概要(原文を転載)

枚方新学舎は平成25年4月から供用が開始され、本学は隣接する附属枚方病院との有機的な連携を保ちながら飛躍に向けた新しい診療、研究、教育システムが本格的にスタートした。

附属滝井病院のリニューアル事業は平成25年6月に工事の競争入札を経て、旧滝井学舎の1-4号館並びに10号館の取り壊し工事がほぼ終了した。その後、立体駐車場建設工事が平成26年2月から開始された。旧牧野学舎は附属看護専門学校の移転先としてリニューアルされ、8月上旬には高殿地区から牧野学舎への校舎移転事業が終了し、2学期から新しい環境下での看護教育が開始されている。

教育研究分野では、臨床系講座における研究体制の充実を目的として、研究医長制度が規定化され、また、学部学生教育の充実に対しては英語力の更なる強化策を実施。4学年の3学期に完全型チュートリアルを4週間に集約し、残りの時間を講義に割り当てて基本的な医学知識の獲得と思考能力の涵養に努めた。また、新しい試みとしてプレクリニカルクラークシップ制度を導入し、5学年から始まる臨床実習に備える策を講じた。研究医養成枠入学者対策カリキュラムとして研究マインド育成プログラムを制定し8名が参加した。入学試験制度にも改革を加え、昨年度の大阪、東京に加えて、名古屋、福岡会場を新設し、後期試験を導入して受験者数は4,246名に達した。

附属枚方病院は歯科・口腔外科の新設、神経内科の拠点を滝井病院から移設し、更に、中央採血室の拡張、手術室の増設、がん治療緩和センターの新設と増床、研修医当直室の移設、コーンビームCTや手術支援ロボットの導入など診療支援強化を図り、増収にも努めた。附属滝井病院は心臓血管外科の新設、PETセンター、透析センターの開設や増設などの診療強化と増収に努めた。香里病院は平成24年度にDPCデータ提出加算の届け出を行い、本年度からDPC準備病院となることが可能となった。天満橋総合クリニックは大学附属の医療機関として相応しい改修とCTなどの必要機器の整備を新たに行った。

情報管理部門として、医療情報システムに対する10ヵ年投資計画を策定した後、戦略的パートナーリング形成による協業体制の確立と医療情報IT関連設備投資額を確定した。

平成25年度の法人帰属収支差額は5,352百万円の黒字化を達成した。この黒字額は前年度比261百万円の増加である。この結果、本年度も滝井病院リニューアル計画に30億円を積み増しすることが可能となった。また、枚方キャンパス統合移転整備事業募金活動は寄付金総額1,313百万円、学校債発行額730百万円、総合計金額は2,043百万円と目標金額を達成して本年度で終結した。

## 平成25年度、26年度の内部監査

内部監査室長 稲垣 千代子

平成25年度内部監査を下記の項目で実施し、平成26年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

### 1、平成25年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

#### 年次監査

- 1)「研究・教育補助金の管理状況(平成24年度対象)」
- 2)「研究補助金管理のモニタリング(平成25年度対象)」
- 3)「物品調達業務」
- 4)「内部監査の定期的内部評価」

- 2)監査項目：公的研究補助金管理のモニタリング  
(平成26年度対象)

監査対象部署：大学事務部研究課及び関連部署

監査日程：平成26年12月～平成27年2月

- 3)監査項目：研究指導体制(指導要領、カリキュラム、データ管理、研究倫理教育)

監査対象部署：大学院、全研究部門

監査日程：平成26年9月～10月

- 4)監査項目：労働時間管理  
(労働基準監督署指摘事項の改善状況)

監査対象部署：法人事務局、附属3病院、看護専門学校

監査日程：平成26年11月～12月

### 2、平成26年度内部監査計画(年次監査)

- 1)監査項目：公的研究補助金の管理状況  
(平成25年度対象)

監査対象部署：大学事務部研究課及び関連部署

監査日程：平成26年7月～8月

以上



## 法 人

### 平成25年度インシデント報告集計

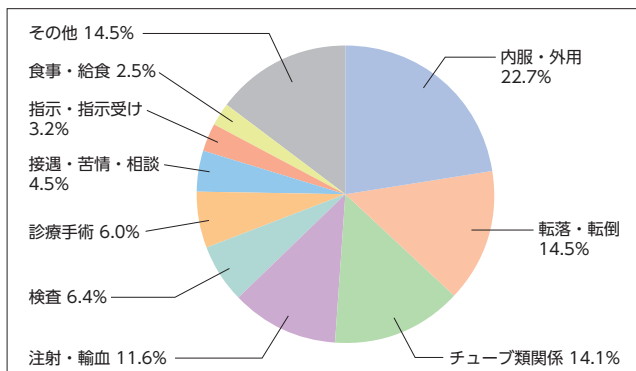
医療安全管理センターでは、このほど附属病院の平成25年度インシデント報告を集計しました。それによると総報告数は、9,765件で患者への影響レベル別にした件数は、下表のとおりです。

なお、インシデント報告は、個人を責めるものではなく、事故の内容を検証し再発防止に役立てるためのものです。今後とも積極的な報告をお願いします。

インシデント内容は、(1)内服・外用、(2)転倒・転落、(3)チューブ類、(4)注射・輸血に関するものが多く、これらで全体の約63%を占めています。(チューブ類を除き、前年度より若干、減少傾向ではあります。)

当センターでは、今後も附属病院の事例検討を通じて、情報や対策の共有に努め、大学全体の医療安全向上を図ります。

発生の主な要因



患者への影響別インシデント報告数

事故が発生する前に気がついた	1,337件
事故は発生したが患者への実害はなかった	4,923件
観察強化などが必要であるが、処置や治療は不要であった	2,377件
処置や治療を要した	1,128件
総 計	9,765件

### 診療報酬請求漏れしていませんか？

#### 第7回関西医科大学地域医療連携フォーラム開催



第1部で講演する長面川氏



第2部パネルディスカッション

7月5日(土)午後3時30分からホテル・アゴラ大阪守口において、第7回関西医科大学地域医療連携フォーラムが開催されました。

今まで、当フォーラムでは主に、最新医療や本学で行っている医療の紹介をしていましたが、今回は初めての試みとして、保険請求業務を取り上げ、テーマを「今さら聞けない保険請求～算定漏れてませんか?～」として、株式会社医療情報科学研究所 代表取締役 長面川(なめかわ)さより氏を講師に迎え、近隣の医療機関から医師、看護師、事務員及び本学の教職員を合わせ、総勢113名が参加し、熱心に受講していました。

第1部は、「改定における診療報酬請求の運用と留意点～地域医療連携関連項目のポイント～」と題して、長面川氏による特別講演が行われ、今年4月の診療報酬改定の内容も交えて、診療報酬請求する際の請求漏れや紛らわしい請求等について、わかりやすく説明いただきました。

第2部では、長面川氏に本学3附属病院の医事課長3名が加わってのパネルディスカッションが行われ、事前アンケートで寄せられた質問や疑問についての解説と3病院での状況報告が行われました。

参加者は早速持ち帰って、診療報酬請求の漏れや誤りがないようにしたいと、請求業務に向かう気持ちを新たにしました。

## 法人

### 「施設設備整備拡充資金」の募集

関西医科大学では平成26年度の寄付金として「施設設備整備拡充資金」を募集しております。これは医学・医療技術の進歩に対応して教育・研究・診療の施設設備の整備・拡充を進めるためのものです。

皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### 募集要項

- |            |                                                                                       |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 募集対象    | 本学学生の保護者、同窓会員、<br>本学関連の個人および法人その他                                                     |
| 2. 募集金額    | 1口 100万円<br>1口未満でも申し受けます。                                                             |
| 3. お問い合わせ先 | 関西医科大学法人事務局募金室<br>〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1<br>TEL：072-804-2146（直通）<br>FAX：072-804-2344 |

平成26年4月1日から平成26年6月30日までにご寄付いただきました方々のご芳名(五十音順)を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。

HPでの公開は控えさせていただきます。

### 枚方キャンパス統合移転整備事業募金学校債

平成23年度・平成24年度学校債を引受けいただきました方のご芳名を追加掲載させていただきます。ご支援に対して深く感謝申し上げます。

HPでの公開は控えさせていただきます。

### 学章・学旗の変更について



新しい学章



新しい副章



副章の基となった記念記章



新しい学旗

規定の改正があり、これに伴い、学章・学旗を変更することとなりました。

新しい学章は、醫(「医」の旧字体)の文字を梅花の輪郭で囲んだもので、これまで副章として用いられており、本学の前身大阪女子高等医学専門学校の校章であったゆかりの深いデザインです。

また、学章が変更されるのに伴い、学旗も新しい学章が描かれたものに新調され、今年の創立記念日には枚方学舎にはためきました。

さらに、これまでの副章を学章としたことから、新たな副章に昨年枚方学舎開設記念に製作した記章デザインを制定しました。

この副章でもある記念記章は、学内外で行われる行事・式典などの際に着用いただき、本学への愛校心・帰属意識を高めましょう。

なお、記章は枚方学舎の歴史資料室に展示しており、法人事務局総務部で販売しております。未だお持ちでない方は、ぜひともご購入いただき着用をお願いします。

## 主な出来事

今号掲載期間の主な出来事をご紹介します。(記事掲載は太字)

法人	<b>6月30日</b> 創立記念日	
	7月1日 辞令交付式	
	<b>7月2日</b> 附属滝井病院新築・整備工事 起工式	
	<b>7月5日</b> 第7回関西医科大学地域医療連携フォーラム	
大学	<b>5月12日</b> 留学生歓迎会	
	<b>5月15日</b> 第84回解剖体追悼法要	
	<b>5月15日</b> 遺骨返還式	
	5月29日 次世代医療システム産業化フォーラム2014	
	<b>6月7日</b> 第33回白菊会総会	
	6月14日 健康沿線トークカフェ	
	6月21日 新任教員ワークショップ	
附属 枚方病院	4月19日 がん治療・緩和センター開設記念講演会	
	<b>4月24日</b> 刺股・護身術講習会	
	<b>5月26日</b> インフォームドコンセント講習会	
	<b>5月30日</b> 春季消防訓練	
附属 滝井病院	<b>4月4日</b> 第二回滝井血管病セミナー	
	<b>5月7日</b> 患者送迎用バス2号車運行開始(鶴見区方面へ)	
	<b>5月29日</b> 第4回循環器救急フォーラム	
	<b>6月2日</b> 立体駐車場運用開始	
	7月3日 七夕コンサート	
香里病院	<b>4月19日</b> 第7回寝屋川市医師会・香里病院地域連携の会	
	<b>5月31日</b> 日本センチュリー交響楽団による院内コンサート	
看護 専門学校	<b>5月13日</b> 戴帽式	
	<b>5月14日</b> 防犯訓練講習会	
卒後 臨床研修 センター	<b>4月19日</b> 臨床研修合同説明会	
	<b>4月27日</b> レジナビフェア2014 For Resident in 大阪	
	<b>5月10日</b> 看護職臨地実習指導者研修	
	<b>5月31日</b> 後期臨床研修合同説明会	
	<b>6月14日</b> 看護職実地指導者研修	

創立記念日

留学生歓迎会

春季消防訓練

循環器救急フォーラム

戴帽式



## 大 学

## 平成27年度医学部入試概要

## 【推薦入試】

募集人員：10名  
 募集区分：特別枠のみ、専願  
 願書受付期間：  
 平成26年11月1日(土)～11月14日(金)  
 出願要件：  
 ①高等学校卒業見込みの者で全体および6教科の評定平均値が共に4.0以上  
 ②心身共に健全で、人物・学力に優れ、学校長が推薦する者。

## 【センター試験利用入試】

募集人員：15名  
 募集区分：一般枠  
 願書受付期間：  
 平成26年12月15日(月)～平成27年1月16日(金)  
 出願要件：  
 ①高等学校卒業見込みの者および高等学校を卒業した者  
 ②大検および高卒認定試験の合格者  
 ③外国における12年の課程を修了した者、  
 その他文部科学大臣が指定した者  
 第1次試験日：《大学入試センター試験日》  
 平成27年1月17日(土)～平成27年1月18日(日)  
 第1次試験合格者発表日：平成27年2月12日(木)

## 【一般入試・前期】

募集人員：80名  
 募集区分：  
 一般枠(若干名、特別枠を募集する場合がある)  
 願書受付期間：  
 平成26年12月22日(月)～平成27年1月21日(水)  
 出願要件：  
 ①高等学校卒業見込みの者および高等学校を卒業した者  
 ②大検および高卒認定試験の合格者  
 ③外国における12年の課程を修了した者、  
 その他文部科学大臣が指定した者  
 選抜方法：  
 第1次試験：入学者選抜学力検査実施教科・科目  
 (1)数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B  
 ※「数学B」は(数列、ベクトル)を出題範囲とする。

## 【一般入試・後期】

募集人員：7名  
 募集区分：一般枠  
 願書受付期間：平成27年2月19日(木)～平成27年2月26日(木)  
 出願要件：  
 ①高等学校卒業見込みの者および高等学校を卒業した者  
 ②大検および高卒認定試験の合格者  
 ③外国における12年の課程を修了した者、  
 その他文部科学大臣が指定した者  
 選抜方法：  
 第1次試験：入学者選抜学力検査実施教科・科目  
 (1)数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B  
 ※「数学B」は(数列、ベクトル)を出題範囲とする。

選抜方法：

第1次試験：出願書類をもとに書類選考  
 第2次試験：第1次試験の合格者に実施  
 (1)小論文  
 (2)適性検査(数値的問題、英文問題含む)  
 (3)面接(集団・個別)  
 第1次試験結果通知日：平成26年11月20日(木)  
 第2次試験日：平成26年11月23日(日)  
 第2次試験場所：本学枚方学舎  
 第2次試験合格者発表日：平成26年11月28日(金)

選抜方法：

第1次試験科目：  
 国語：「国語」(近代以降の文章のみ)  
 数学：「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」  
 の2科目必須  
 理科：「物理」「化学」「生物」から2科目選択  
 外国語：「英語」(リスニング含む)  
 第2次試験：面接(第1次試験合格者に対して実施)  
 第2次試験日：平成27年2月15日(日)  
 第2次試験場所：本学枚方学舎  
 第2次試験合格者発表日：平成27年2月19日(木)

(2)理科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」の3科目から2科目選択。(試験場で問題配布後、選択)  
 (3)外国語：英語Ⅰ、英語Ⅱ、リーディング、ライティング  
 (4)小論文  
 第1次試験日：平成27年1月31日(土)  
 第1次試験場所：  
 大阪会場：インテックス大阪  
 東京会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター  
 名古屋会場：TKP名古屋ビジネスセンター  
 福岡会場：南近代ビル  
 第1次試験合格者発表：平成27年2月12日(木)  
 第2次試験：面接(第1次試験合格者に対して実施)  
 第2次試験日：平成27年2月15日(日)  
 第2次試験場所：本学枚方学舎  
 第2次試験合格者発表：平成27年2月19日(木)

(2)理科：「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」の3科目から2科目選択。(試験場で問題配布後、選択)  
 (3)外国語：英語Ⅰ、英語Ⅱ、リーディング、ライティング  
 (4)小論文  
 第1次試験日：平成27年3月7日(土)  
 第1次試験場所：インテックス大阪  
 第1次試験合格者発表：平成27年3月14日(土)  
 第2次試験：面接(第1次試験合格者に対して実施)  
 第2次試験日：平成27年3月17日(火)  
 第2次試験場所：本学枚方学舎  
 第2次試験合格者発表：平成27年3月20日(金)

詳細は本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/admissions/index.html>)をご覧ください。



## 大 学

## 医学部入試イベント

福永幹彦教授(心療内科)による  
入試イベント講演の様子



昨年度の医学部入試は、枚方学舎の開設や学費の値下げをはじめ、一般入試後期試験の導入や一般入試前期試験福岡・名古屋会場の増設等の入試改革など新たな取り組みを行ったこともあり、過去最高となる4,246名の方に志願していただきました。

今年も本学の魅力を伝え、より多くの方に受験していただくために各地の入試関連イベントに参加しています。

8月以降に本学が参加予定のイベントは以下の通りです。

今後の参加予定や入試の最新情報は本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/admissions/index.html>)もしくは検索サイトで「関西医大 入試情報」と検索してください。

## 8月以降に参加予定の入試説明会・相談会

日 時	名 称	会 場	主 催
8月8日(金) 午前12時～	私立医科系大学進学相談会2014	福岡ファッションビル	教育広報社
8月9日(土) 午前11時30分～	私立医科大学合同入試説明会・相談会	日本医科大学(東京)	日本私立医科大学協会
8月13日(水) 午前12時～	私立医科系大学進学相談会2014	ミッドランドホール(愛知)	教育広報社
8月29日(金) 午前11時30分～	私立医科大学合同入試説明会・相談会	愛知医科大学	日本私立医科大学協会
8月30日(土) 午前11時30分～	私立医科大学合同入試説明会・相談会	近畿大学	日本私立医科大学協会
9月14日(日) 午前11時30分～	私立医科大学合同入試説明会・相談会	自治医科大学(栃木)	日本私立医科大学協会
10月4日(土) 午後1時～	全国医歯薬科大学受験相談会	大阪城ホール・城見ホール	代々木ゼミナール
10月25日(土) 午後1時～	全国医歯薬科大学受験相談会	新宿エルタワー(東京)	代々木ゼミナール

## 平成27年度関西医科大学大学院医学研究科学生募集要項(博士課程)

## 〈募集人員〉

- ・医科学専攻(代謝機能制御系、高次機能制御系、生体応答系、社会環境医療系)  
計30名(前後期の合計)
- ・先端医療学専攻(修復医療応用系、ブレインメディカルサイエンス系)  
計20名(前後期の合計)

## 〈願書受付期間〉

- 前期 平成26年7月15日(火)～平成26年8月8日(金)
- 後期 平成27年1月5日(月)～平成27年1月29日(木)

## 〈試験期日、試験科目及び場所〉

試験期日		試験科目	場所
前期：平成26年9月6日(土) 後期：平成27年2月7日(火)	午前9時30分～12時(筆記試験)	外国語(英語)	関西医科大学枚方学舎 1階「試験・実習室」
	午後	専攻別授業科目	当日通知

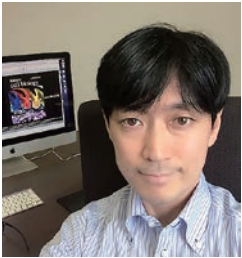
## 〈合格発表日〉

前期	平成26年10月15日(水)	正午に本学大学院掲示板に掲示するとともに、願書に記入された合格通知場所宛に通知する。
後期	平成27年2月19日(木)	

出願書類など詳細は本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/admissions/index.html>)をご覧ください。

## 大 学

## 平成26年度武田科学振興財団特定研究助成に 病理学第一講座上野博夫教授グループの研究が採択



採択された上野教授

今年度の公益財団法人武田科学振興財団・特定研究助成(5千万円)に病理学第一講座上野博夫教授グループの研究が採択されました。贈呈式は11月12日(水)シェラトン都ホテル東京において行われます。武田科学振興財団特定研究助成は、武田科学振興財団の研究助成の中でも最も高額な助成金であり、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む研究、例えば、異分野間の研究、申請機関の注力研究・特有の研究、難病疾患研究(オーファン疾患含む)などを重視した先見性・独創性の高い研究が助成の対象となります。

上野教授のグループは、これまで多色細胞系譜追跡法によって、舌上皮幹細胞などを世界に先駆けて発見し報告して来ましたが、今回助成の対象となった研究では、同定した成体幹細胞の単細胞遺伝子発現解析によって個々の幹細胞の特徴を詳細に解析していきます。その結果、成体幹細胞集団内に存在が想定されている長期幹細胞、短期幹細胞などの幹細胞階層構造を明らかにするとともに、がん幹細胞を特徴づける遺伝子群の同定を目指します。それにより、新たな分子標的療法の標的遺伝子の発見と新たな治療法の開発が期待されます。

## 感謝の祈りを捧げた「解剖体追悼法要」「遺骨返還式」



式辞を読み上げる山下理事長・学長

5月15日(木)午前10時から京都市東山区の臨済宗建仁寺派大本山・建仁寺において「第84回解剖体追悼法要」が執り行われました。篤志により医学の発展に寄与するためご献体いただいた故人のご遺族や、白菊会会員の方々、山下敏夫理事長・学長をはじめ教職員、解剖実習を終えた学生など、400名を越える関係者が参列。厳かな空気の中、医学発展に貢献された故人に対する感謝の気持ちと、安らかな眠りを願う祈りに満ちた法要となりました。

法要を終えた午前11時から「遺骨返還式」を挙げる。山下理事長・学長の感謝の言葉とともに全部で16柱のご遺骨を返還し、併せて文部科学大臣からの感謝状を贈呈いたしました。

## 第33回関西医科大学白菊会総会を開催



会長挨拶を行う平野白菊会会長

6月7日(土)午後1時から、枚方学舎加多乃講堂を主会場(第1講義室へ同時中継)に第33回関西医科大学白菊会総会が開催され、白菊会会員185名のほか、山下敏夫理事長・学長をはじめ解剖学、病理学各講座の関係教員が出席しました。総会では黙祷の後、本学の学生混声合唱団「コールクライス」のリードのもと「白菊会の歌」を斉唱し、続いて山下理事長・学長と平野利夫白菊会会長の挨拶が行われ、さらに同会役員及び本学関係者の紹介がありました。

議事では白菊会行事報告、会計報告及び会計監査報告があり、それぞれ承認されました。なお、例年

総会時にお祝いをしている卒寿を迎えた方が今年は止むなく欠席となりましたが、最後は出席者全員による記念撮影が行われ、無事終了しました。



## 大 学

## 平成26年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定者(代表者)一覧

文部科学省・日本学術振興会

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
新学術領域研究 継続	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教 授	細胞接着の時空間制御による免疫動態調節機構	11,700,000	3,510,000
新学術領域研究 継続	分子遺伝学部門	植田 祥啓	講 師	自己反応性T細胞の胸腺組織内3次元機能的動態イメージング	4,200,000	1,260,000
基盤研究(C) 継続	精神神経科学	吉村 匡史	講 師	統合失調症患者に対する定量薬物脳波学的研究	300,000	90,000

(単位:円)

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)
新学術領域研究	2	15,900,000	4,770,000
基盤研究(C)	1	300,000	90,000
合 計	3	16,200,000	4,860,000

(単位:円)

## 平成26年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定者(代表者)一覧

日本学術振興会

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	大学情報センター	渡邊 淳	准教授	日本語自然文で記述された診療記録解析のための言語処理アルゴリズムの構築と評価	400,000	120,000
	物理学	影島 賢巳	教 授	ナノスケール誘電緩和計測法の開発と動的物性計測の新地平	1,100,000	330,000
	解剖学第一	和田 幸恵 (平原 幸恵)	助 教	質量顕微鏡によるオリゴデンドロサイト分化マーカーの可視化	1,200,000	360,000
	微生物学	田中 正和	助 教	HTLV-1感染ヒト化マウスを用いた腫瘍発生過程における遺伝子変異蓄積機序の解明	1,500,000	450,000
	臨床検査医学	保坂 直樹	講 師	再生胸腺移植を併用した新しい骨髄移植法による癌治療	1,200,000	360,000
	臨床検査医学	吉賀 正亨	助 教	質量分析イムノアッセイを用いた内因性ジギタリス産生分泌機序と高血圧発症機序の解明	2,300,000	690,000
	健康科学	木村 穰	教 授	長期・連続・自動生体情報記録による疾患別遠隔予防・治療システムの臨床効果の研究	2,700,000	810,000
	内科学第三	岡崎 和一	教 授	自己免疫性肺炎の病態形成における自然免疫系異常に関する研究	1,400,000	420,000
	内科学第二	宮坂 陽子	講 師	心エコー指標による心房細動患者の心血管イベント発症と予後予測に関する検討	900,000	270,000
	病理学第一	熊野 恵城	准教授	肺がんの起源の違いに基づいたがん幹細胞を標的とした新たな治療標的の探索	1,500,000	450,000
	内科学第二	塚口 裕康	講 師	ゲノム情報に基づく腎尿管間質性障害の新しい系統的診断フローの構築	1,500,000	450,000
	放射線科学	津野 隆哉	助 教	ヒト癌幹細胞に対するIFN- $\alpha$ 賦活BID遺伝子/放射線集学的治療の検討	1,700,000	510,000
	産科学・婦人科学	岡田 英孝	准教授	ヒト子宮内膜における転写因子Hand2の機能解析とその臨床的意義	1,300,000	390,000
	眼科学	尾辻 剛	講 師	網膜色素上皮下の脈絡膜新生血管が治療抵抗性を示す原因の解明	1,300,000	390,000
衛生学	中塚 隆介	助 教	マウス歯髄由来Sca-1陽性微小細胞の幹細胞性の検証	1,200,000	360,000	

## 大 学

## 平成26年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定者(代表者)一覧

日本学術振興会

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	整形外科学	菅 俊光	准教授	慢性期脳卒中片麻痺患者の痙縮治療を契機に変容する障害体験のモデル化	1,400,000	420,000
	公衆衛生学	三島 伸介	助 教	医療通訳育成のためのモデルコアカリキュラム作成	800,000	240,000
	心理学	西垣 悦代	教 授	日本におけるヘルスコーチングの可能性：コーチング心理学に基づく基盤の確立	1,400,000	420,000
	解剖学第一	森 徹自	非常勤講師	SVZ神経前駆細胞の増殖を調節する神経回路	1,200,000	360,000
	麻酔科学	山口 龍二	研究員	デオキシングコースABT-263による細胞死誘導メカニズム	1,200,000	360,000
	解剖学第二	丸山 正人	講 師	グリオーマ癌幹細胞選択的遺伝子発現システムの構築による新規脳腫瘍治療戦略	1,300,000	390,000
	生理学第一	岡田 誠剛	准教授	飼育環境のストレスに反応し、不安様行動に関与するイオンチャネルの同定	700,000	210,000
	衛生学	佐々木 豊	准教授	新規c-kit低発現マウス造血幹細胞の特性と老化における役割の解明	1,100,000	330,000
	医化学	片野 泰代	講 師	慢性疼痛発生維持を担う新規神経障害性疼痛関連分子の解析	1,400,000	420,000
	法医学	橋谷田 真樹	講 師	次世代シーケンサーを用いた死後microRNAの網羅的検索とその法医学的応用	1,000,000	300,000
	内科学第二	岩崎 真佳	講 師	多能性ヒトMesoangioblastのoriginと効果的心筋分化誘導法の解明	1,200,000	360,000
	内科学第三	福井 寿朗	講 師	pSmad2/3L-Thrに着目した消化管上皮幹細胞・癌化・再生機構の検討	1,200,000	360,000
	救急医学	津田 雅庸	講 師	原発性胆汁性肝硬変(PBC)における肝繊維化の機序とサイトカインの検討	900,000	270,000
	衛生学	藤岡 龍哉	講 師	新規CD34抗原陰性白血病幹細胞の同定とニッチ機能を阻害する抗体療法の開発	1,100,000	330,000
	小児科学	石崎 優子	准教授	視線解析を用いた高機能自閉症スペクトラム障害の早期発見法と社会適応訓練法の開発	700,000	210,000
	小児科学	金子 一成	教 授	微少変化型ネフローゼ症候群における標的療法の開発	1,200,000	360,000
	放射線科学	河 相吉	准教授	マウス発がんモデルにおける抗腫瘍剤誘導アポトーシスと腫瘍糖代謝能のイメージング	1,000,000	300,000
	放射線科学	狩谷 秀治	講 師	大量ナノバブルにより増強したキャビテーション効果の医療利用：血栓溶解効果での評価	1,100,000	330,000
	放射線科学	谷川 昇	教 授	肝細胞癌に対するRI標識リポドールを用いた新しい放射線塞栓療法の開発	1,700,000	510,000
	麻酔科学	稲田 武文	非常勤講師	プロポフォル・デクスメトミディンの5-リポキシゲナーゼ依存性免疫修飾の研究	1,400,000	420,000
	麻酔科学	西 憲一郎	講 師	生体内酸素代謝がHIF-1を介して細胞間接着装置の機能調節に与える影響の探究	1,200,000	360,000
	腎泌尿器外科学	松田 公志	教 授	磁場発生装置を使用した軟性尿管鏡位置計測システム及びナビゲーションシステムの開発	500,000	150,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	岩井 大	准教授	老人性難聴治療に向けた胸腺移植および胸腺移植の検討	1,400,000	420,000
	病理学第二	義澤 克彦	講 師	食品由来抗酸化物質を用いた網膜色素変性症動物モデルでの新規治療法の確立	1,200,000	360,000
薬理学	赤間 智也	准教授	マトリックス蛋白質LTBP2の機能と眼疾患への関与	1,300,000	390,000	
眼科学	三木 克朗	助 教	新生血管阻害剤を付加したセラミック微小球による新しい加齢黄斑変性に対する治療	2,000,000	600,000	
医学教育センター	菅谷 泰行	准教授	世代間交流に基づく「認知症ケアリング教育」のためのプログラムと教材の開発	1,600,000	480,000	



## 大 学

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	公衆衛生学	三宅 真理	講 師	介護労働の軽減を目的とした介護プログラムの開発	600,000	180,000
	解剖学第一	高森 康晴	助 教	核ラミナ構築タンパク質の変異で誘導される神経変性疾患の発症機序	900,000	270,000
	解剖学第一	山田 久夫	教 授	海馬ニューロン新生に対する身体運動制御の定量的評価	1,400,000	420,000
	物理学	楠本 邦子 (竹本 邦子)	准教授	軟X線マイクロCTによるシアノバクテリア生体高分子可視化による有機物量評価	1,100,000	330,000
	微生物学	藤澤 順一	教 授	HTLV-1感染ヒト化マウスを用いたATL発症過程特異的細胞変異の同定	800,000	240,000
	医化学	松村 伸治	講 師	神経障害性疼痛維持機構の構造的および機能的変化の同時イメージング	1,100,000	330,000
	医化学	西田 和彦	助 教	新規遺伝子改変マウスを用いた疼痛神経回路網の蛍光可視化システムの開発	700,000	210,000
	内科学第三	内田 一茂	講 師	1型自己免疫性膵炎におけるIgG4産生機序と自然免疫の役割	1,300,000	390,000
	内科学第三	西尾 彰功	准教授	膵炎発症における小胞体ストレスの関与と新規治療法の検討	1,200,000	360,000
	微生物学	竹之内 徳博	准教授	樹状細胞を介したHTLV-1感染モデルの構築と薬剤スクリーニングへの応用	1,300,000	390,000
	衛生学	藺田 精昭	教 授	ヒト未分化CD34抗原陰性造血幹細胞の特性と分化経路・階層制の解明	1,200,000	360,000
	内科学第一	伊藤 量基	准教授	線溶系物質による樹状細胞機能の制御：炎症性疾患に向けた新たな治療コンセプトの提案	600,000	180,000
	小児科学	高屋 淳二	非常勤講師	胎児の栄養環境と代謝エピジェネティクス制御	700,000	210,000
	外科学	杉江 知治	教 授	トラスツズマブ耐性に関する分子機構の解析と新規治療法開発のための基礎的研究	1,200,000	360,000
	外科学	権 雅憲	教 授	増殖型遺伝子組換えウイルスを用いた根治不能肝腫瘍に対する新治療法の開発研究	1,200,000	360,000
	麻酔科学	高淵 聡史	研究員	低酸素誘導性因子と周術期使用薬剤がマイクログリア活性化制御に果たす役割の探究	800,000	240,000
	病理学第二	螺良 愛郎	教 授	アラキドン酸によるMNU誘発網膜色素変性症動物モデルの病態制御とその分子機構	500,000	150,000
形成外科学	楠本 健司	教 授	電気穿孔法によるサイトカインの経皮、経潰瘍底導入効果についての実験的研究	1,500,000	450,000	
若手研究(B) 新規	病理学第一	吉田 真子	講 師	多色細胞系譜マウスを用いた膵島形成機構の解明および膵島作製に関する研究	1,800,000	540,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	小林 良樹	助 教	好酸球性副鼻腔炎合併喘息の病態解明とAirway Medicine確立への第一歩	1,700,000	510,000
	医化学	井上 明俊	助 教	慢性的なかゆみにおける中枢神経の可塑性を制御する分子機構、神経機構の解析	1,500,000	450,000
	衛生学	松岡 由和	助 教	ヒト造血幹細胞におけるCD34抗原の発現意義とその機能解析	1,000,000	300,000
	精神神経科学	西田 圭一郎	助 教	うつ病治療応用のための神経回路変化に着目した経頭蓋直流電気刺激の最適化と臨床検証	2,000,000	600,000
	形成外科学	覚道 奈津子	助 教	脂肪幹細胞と低酸素プレコンディショニング法を用いた血管・皮膚再生療法の開発	900,000	270,000
	病理学第一	厚海 奈徳	助 教	乳癌幹細胞の由来の解明 - 乳腺幹細胞可視化マウスの生体深部イメージングを通して	900,000	270,000
若手研究(B) 継続	生理学第二	則武 厚	助 教	学習に参与する視床下部外側野の多様な報酬情報表現の解読	1,200,000	360,000
	微生物学	上野 孝治	助 教	HAM高発症型HTLV-1を用いたHAM指向性決定機構の解析	1,800,000	540,000

## 大 学

## 平成26年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定者(代表者)一覧

日本学術振興会

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究(B) 継続	小児科学	木全 貴久	助 教	重症紫斑病性腎炎(HSPN)に対するシクロスポリンの有効性とその機序に関する検討	1,000,000	300,000
	精神神経科学	嶽北 佳輝	助 教	統合失調症緊張型に対するm-ECTの生物学的基盤に基づいた治療アルゴリズムの構築	1,200,000	360,000
	放射線科学	吉田 理絵	助 教	経皮的管腔臓器バイパス術の臨床導入：乳糜胸水に対する胸管一下大静脈バイパス術	600,000	180,000
	形成外科学	畔 熱行	助 教	電圧負荷式冷蔵庫(氷感庫)における組織保存の検討	800,000	240,000
	放射線科学	中谷 幸	助 教	CT透視下穿刺支援デバイスシステムの開発	1,000,000	300,000
	神経内科学	和手 麗香	講 師	質量顕微鏡を用いた神経細胞内封入体の研究	1,300,000	390,000
	生理学第一	林 美樹夫	助 教	膵臓外分泌細胞に存在する陰イオンチャンネル蛋白の構造機能協関	500,000	150,000
	内科学第三	吉田 勝紀	講 師	原発性胆汁性肝硬変症の新たなバイオマーカーと免疫療法の検討	800,000	240,000
	放射線科学	米虫 敦	助 教	血管内皮カドヘリンを介したタイトジャンクション制御の経動脈的治療への応用	800,000	240,000
	救急医学	早川 航一	助 教	心原性院外心肺停止症例に対する集学的治療効果に関する研究	500,000	150,000
挑戦的萌芽研究 新規	薬理学	中邨 智之	教 授	弾性線維再生の研究	1,400,000	420,000
	医化学	伊藤 誠二	教 授	二光子顕微鏡を用いた痒みの脊髄後角in vivoイメージングと情報伝達機構の解明	900,000	270,000
	医化学	下條 正仁	講 師	ハイスループットスクリーニングを用いた小細胞肺癌の新規診断法と治療法開発	1,500,000	450,000
	麻酔科学	廣田 喜一	准教授	酸素含有脂質微小粒子による生体内酸素ホメオスタシス維持法開発を目指した基礎研究	1,800,000	540,000
挑戦的萌芽研究 継続	分子遺伝学部門	片貝 智哉	講 師	リンパ節傍皮質領域FRC特性の人為的発現誘導法の開発	1,300,000	390,000
	生体情報部門	松田 達志	准教授	mTORC1シグナル非依存的な新規B細胞分化機構の解明	1,200,000	360,000
	救急医学	鎌方 安行	教 授	臓器・組織壁応力を考慮した新しい循環管理法の開発に関する研究	600,000	180,000

(単位：円)

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)
基盤研究(C)	60	71,500,000	21,450,000
若手研究(B)	19	21,300,000	6,390,000
挑戦的萌芽研究	7	8,700,000	2,610,000
合 計	86	101,500,000	30,450,000

(単位：円)



## 大 学

## 平成26年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金・学術研究助成金助成金)交付内定者(代表者)一覧

日本学術振興会

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(B) 新規	内科学第二	塩島 一郎	教 授	Insulin/IGFの協調作用を介した心機能調節機構の解明	4,800,000	1,440,000
基盤研究(B) 継続	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教 授	Rap1シグナルと哺乳類Hippoによる細胞接着と増殖の統合的制御	4,000,000	1,200,000
	医化学	伊藤 誠二	教 授	蛍光タンパク発現マウスを用いた感覚系入出力における脊髄神経回路網の3次元機能解析	4,900,000	1,470,000
	放射線科学	播磨 洋子	准教授	分子生物学的手法を用いた進行期子宮頸癌の放射線治療予後予測システムの構築	4,800,000	1,440,000
	生理学第二	磯田 昌岐	准教授	自己と他者の動作情報の動的脳内表現	3,400,000	1,020,000
	形成外科学	森本 尚樹	講 師	細胞成長因子保持型人工真皮を用いた細胞治療および細胞誘導治療	2,700,000	810,000

(単位:円)

研究種目等	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)
基盤研究(B)	6	24,600,000	7,380,000
合 計	6	24,600,000	7,380,000

(単位:円)

## 平成25年度科学研究費助成事業交付決定(他大学から転入の代表者)一覧

日本学術振興会

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C)	病理学第一	熊野 恵城	准教授	iPS細胞化技術を用いた白血病幹細胞の病態解明	800,000	240,000
基盤研究(C)	法医学	橋谷田 真樹	講 師	次世代シーケンサーを用いた死後microRNAの網羅的検索とその法医学的応用	1,900,000	570,000
基盤研究(C)	外科学	杉江 知治	教 授	トラスツズマブ耐性に関する分子機構の解析と新規治療法開発のための基礎的研究	1,200,000	360,000
基盤研究(C)	麻酔科学	高淵 聡史	研究員	低酸素誘導性因子と周術期使用薬剤がマイクログリア活性化制御に果たす役割の探究	1,200,000	360,000
基盤研究(C)	麻酔科学	山口 龍二	研究員	デオキシグルコースとABT-263による細胞死誘導のメカニズム	2,100,000	630,000
若手研究(B)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	小林 良樹	助 教	喘息におけるステロイド抵抗性メカニズムの解明と臨床応用への挑戦	1,600,000	480,000
若手研究(B)	救急医学	早川 航一	助 教	心原性院外心肺停止症例に対する集学的治療効果に関する研究	500,000	150,000
挑戦的萌芽研究	麻酔科学	廣田 喜一	准教授	低酸素センサー調節による誘導代謝リプログラミングによる腎不全治療戦略の策定	900,000	270,000
挑戦的萌芽研究	救急医学	鎌方 安行	教 授	臓器・組織壁応力を考慮した新しい循環管理法の開発に関する研究	1,700,000	510,000

(単位:円)

## 大 学

## 平成25年度科研費(分担者)一覧

文部科学省・日本学術振興会

研究種目等	研究分担者			研究代表者	研究課題	交付内定額	
						直接経費	間接経費
新学術領域研究	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教授	名古屋大学 宮田 卓樹 教授	動く細胞と場のクロストークによる秩序の生成	500,000	150,000
新学術領域研究	分子遺伝学部門	片貝 智哉	講師	大阪大学 宮坂 昌之 名誉教授	二次リンパ組織ストローマ細胞の性状と機能	8,400,000	2,520,000
基盤研究(B)	解剖学第二	丸山 正人	講師	京都大学 服部 明 准教授	活性動態の理解に基づいた脱ユビキチン化酵素の機能解明	300,000	90,000
基盤研究(B)	小児科学	石崎 優子	准教授	東京医科歯科大学 丸 光恵 教授	思春期・若年成人がん患者・サバイバーへの医療・教育・就労支援に関する国際比較研究	400,000	120,000
基盤研究(B)	形成外科学	森本 尚樹	講師	京都大学 河合 勝也 准教授	機能性人工真皮の開発及び難治性皮膚疾患への応用	400,000	120,000
基盤研究(C)	医化学	伊藤 誠二	教授	大阪工業大学 芦高 恵美子 教授	ノシスタチン結合タンパク質標的分子TRPV6の品質管理に基づく疼痛制御の解明	50,000	15,000
基盤研究(C)	解剖学第一	若林 毅俊	准教授	岡山大学 小阪 淳 准教授	2本の血管柄付き末梢神経移植による網膜-視覚中枢投射の再構築	100,000	30,000
基盤研究(C)	大学情報センター	仲野 俊成	准教授	兵庫医科大学 宮本 正喜 教授	オントロジ技術を用いた内視鏡診断学習システムの開発	100,000	30,000
基盤研究(C)	外科学	山本 大悟	講師	東北大学 山口 拓洋 教授	PRO-CTCAE日本語版の開発と普及に関する研究	150,000	45,000
基盤研究(C)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	土井 直	准教授	滋賀大学 芦谷 道子 准教授	小児の聴覚処理障害に対する評価と教育臨床心理的支援	80,000	24,000
基盤研究(C)	麻酔科学	廣田 喜一	准教授	田附興風会 足立 健彦 部長	肺超低酸素が低酸素誘導性遺伝子発現変化を通じて肺に及ぼす影響の細胞生物学的検討	1,000,000	300,000

(単位:円)

## 平成26年度厚生労働科学研究費補助金交付内定者(代表者)一覧

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
地球規模保健課題推進研究事業	整形外科	飯田 寛和	教授	我が国における金属摩耗粉による人工股関節置換術合併症の調査研究	4,600,000	1,380,000
新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業	微生物学	上野 孝治	助教	HTLV-1感染モデルを用いた抗HTLV-1薬の探索および作用機序の解析	5,000,000	1,500,000

(単位:円)

## 大 学

## 平成25年度厚生労働科学研究費補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究種目等	研究分担者			研究課題	研究代表者	直接経費	間接経費
難治性疾患克服研究事業	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教授	IgG4関連疾患に関する調査研究	京都大学 千葉 勉 教授	1,200,000	0
	内科学第二	塚口 裕康	講師	腎・泌尿器系の希少難治性疾患群に関する調査研究	神戸大学 飯島 一誠 教授	4,000,000	0
	内科学第三	岡崎 和一	教授	難治性膝疾患に関する調査研究	東北大学 下瀬川 徹 教授	1,000,000	0
	内科学第三	岡崎 和一	教授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	東京医科歯科大学 渡辺 守 教授	1,000,000	0
	内科学第三	岡崎 和一	教授	IgG4関連疾患に関する調査研究	京都大学 千葉 勉 教授	6,000,000	0
	外科学	濱田 吉則	教授	小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	九州大学 田口 智章 教授	450,000	0
	眼科学	高橋 寛二	教授	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	名古屋市立大学 小椋 祐一郎 教授	2,000,000	0
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業	小児科学	石崎 優子	准教授	慢性疾患に罹患している児の社会生活支援ならびに療育生活支援に関する実態調査およびそれら施策の充実に関する研究	東京大学 水口 雅 教授	1,500,000	0
がん臨床研究事業	内科学第一	倉田 宝保	教授	未治療原発不明癌に対するDNAチップを用いた原発巣推定に基づく治療効果の意義を問う無作為化第Ⅱ相試験	近畿大学 中川 和彦 教授	600,000	0
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	健康科学	木村 稯	教授	保健指導の導入による脳卒中・心筋梗塞の再発予防効果に関する研究	広島大学 森山 美知子 教授	700,000	0
新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業	微生物学	田中 正和	助教	HTLV-1感染症予防ワクチンの開発に関する研究	国立感染症研究所 長谷川 秀樹 部長	4,000,000	0
肝炎等克服緊急対策研究事業	外科学	海堀 昌樹	准教授	ウイルス性肝炎患者の食事・運動療法とアウトカム評価に関する研究	岐阜大学 森脇 久隆 教授	2,000,000	0

(単位：円)

## 平成25年度厚生労働省がん研究開発費(分担者)一覧(事務委任分)

研究種目等	研究分担者			研究課題	研究代表者	直接経費	間接経費
がん研究開発費	放射線科学	谷川 昇	教授	有効なIVR手技の開発と標準化のための多施設共同研究	独立行政法人国立がん研究センター中央病院 荒井 保明 病院長	1,000,000	0

(単位：円)



## 大 学

## 平成25年厚生労働科学研究費補助金(分担者)一覧(代表者管理分)

研究種目等	研究分担者		研究課題	研究代表者	直接経費	間接経費
難治性疾患克服研究事業	微生物学	竹之内徳博 准教授	HAMの革新的な治療法となる抗CCR4抗体療法の実用化に向けた開発	聖マリアンナ医科大学 山野 嘉久 准教授	500,000	0
医療技術実用化総合研究事業	脳神経外科学	浅井 昭雄 教授	初発膠芽種に対する新規放射線化学療法による有効治療法確立のための臨床研究	大阪医科大学 宮武 伸一 准教授	0	0
がん臨床研究事業	産科学・婦人科学	神崎 秀陽 教授	日本における子宮頸癌予防HPVワクチンの医療経済的評価のための大規模臨床研究	新潟大学 榎本 隆之 教授	0	0
	産科学・婦人科学	村田 紘未 助教	日本における子宮頸癌予防HPVワクチンの医療経済的評価のための大規模臨床研究	新潟大学 榎本 隆之 教授	0	0
	外科学	柳本 泰明 講師	切除不能局所進行膵がんに対する標準的放射線療法の実用化に関する研究	杏林大学 古瀬 純司 教授	196,060	0
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	健康科学	木村 稔 教授	多様なニーズに対応するための新たな保健指導方法の開発に関する研究	国立保健医療科学院 藤井 仁 主任研究官	0	0
難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業	内科学第一	倉田 宝保 教授	進行非小細胞肺癌を対象としたエルロチニブとYM155の分子標的治療薬併用第I相試験	近畿大学 中川 和彦 教授	0	0

(単位:円)

## 平成25年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

平成25年度に募集のあった各種助成財団による研究助成金等が下記の研究者に贈呈された。

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構 平成25年度研究助成	物理学 楠本 邦子 准教授	X線吸収分光法による新しい環境プローブの開発-底質中の硫黄のin situ 化学種分析-	800,000
公益財団法人 喫煙科学研究財団 平成25年度研究助成金	産科学・婦人科学 安田 勝彦 准教授	喫煙婦人の子宮内環境と付随する産婦人科疾患	2,000,000
公益財団法人 喫煙科学研究財団 平成25年度研究助成金	内科学第二 西川 光重 教授	脂肪細胞における甲状腺ホルモン代謝と作用に及ぼす喫煙の影響	2,500,000
財団法人 がん集学的治療研究財団 研究助成金	外科学 徳原 克治 講師	JFMC38-0901「pTNM stage II直腸癌症例に対する手術単独療法及びUFT/PSK療法のランダム化第III相比較臨床試験」	5,000
財団法人 がん集学的治療研究財団 研究助成金	外科学 岩本 慈能 講師	Stage 3(Dukes'C)結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビンの指摘投与期間に関するランダム化第3相比較臨床試験(JFMC37-0801)	40,000
財団法人 がん集学的治療研究財団 研究助成金	外科学 井上 健太郎 准教授	切除不能進行・再発胃癌症例に対するTS-1の連日投与法および隔日投与法のランダム化第2相試験(JFMC43-1003)	5,000
一般財団法人 藤井節郎記念 大阪基礎医学研究奨励会 平成25年度研究助成金	内科学第一 伊藤 量基 准教授	樹状細胞と血小板によるアレルギーおよび免疫誘導に関する研究	2,000,000

(単位:円)

## 大 学

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
一般財団法人 藤井節郎記念 大阪基礎医学研究奨励会 平成25年度研究助成金	外科学 荒木 吉朗 助教	開腹術後痛モデルを用いた新たな鎮痛法の開発	2,000,000
財団法人パブリックヘルス リサーチセンター研究助成金	外科学 里井 壯平 准教授	癌化学療法時の悪心嘔吐観察研究	28,000
財団法人パブリックヘルス リサーチセンター研究助成金	外科学 柳本 泰明 講師	切除不能進行膵癌(局所進行又は転移性)に対するTS-1通常投与法とTS-1隔日投与法のランダム化第II相試験(膵癌隔日投与研究)	440,000
財団法人パブリックヘルス リサーチセンター研究助成金	内科学第二 神島 宏 准教授	冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験(REAL-CAD)	220,000
財団法人 パブリックヘルス リサーチセンター研究助成金	外科学 柳本 泰明 講師	切除不能進行膵癌(局所進行又は転移性)に対するTS-1通常投与法とTS-1隔日投与法のランダム化第II相試験(膵癌隔日投与研究)	230,000
財団法人 パブリックヘルス リサーチセンター研究助成金	外科学 山本 大悟 講師	HER2陽性の高齢者原発性乳がんに対する術後補助療法におけるトラスツズマブ単剤と化学療法併用に関するランダム化比較試験	60,000
財団法人パブリックヘルス リサーチセンター研究助成金	内科学第二 大谷 肇 准教授	冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験(REAL-CAD)	200,000
公益財団法人 日本腎臓財団 平成25年度研究助成	内科学第二 真鍋 憲市 助教	腎性貧血を合併した慢性心不全患者に対するエポエチンベータベゴル投与の有効性の検討	300,000
公益財団法人 新技術開発財団 第22回(平成25年度)植物研究助成	物理学 楠本 邦子 准教授	軟X線顕微鏡法によるカビ臭発生種識別法の開発	1,000,000
公益財団法人 内藤記念科学振興財団 第8回女性研究者研究助成金	形成外科学 覚道 奈津子 助教	脂肪幹細胞と自己血由来増殖因子を用いた皮膚・軟部組織再生とその作用機序の解明	2,000,000
日本医師会 平成25年度医学研究奨励賞	病理学第一 上野 博夫 教授	マルチカラー細胞系譜追跡法による成体幹細胞の同定と解析	1,500,000
公益財団法人 内藤記念科学振興財団 第13回若手研究者海外派遣助成金	精神神経科学 西田 圭一郎 助教	会 議 名 : World Psychiatric Association International Congress 2013 開催地 : オーストラリア	350,000
公益財団法人 武田科学振興財団 2013年度ビジョナリーリサーチ 継続助成2010・2011年度ホップ	薬理学 中邨 智之 教授	弾性線維の再生～マトリックス創薬への第1歩～	5,000,000
一般社団法人 日本損害保険協会 2013年度交通事故医療に関する 一般研究助成	救急医学 早川 航一 助教	重症頭部外傷に対する超早期能低温療法の有効性に関する研究	1,000,000
一般社団法人 日本損害保険協会 2013年度交通事故医療に関する 一般研究助成	整形外科 長谷 公隆 教授	脳損傷患者に対する経頭蓋直流電気刺激療法が急性期リハビリテーション治療に及ぼす効果に関する研究	1,000,000
公益信託三島済一記念 眼科研究国際交流基金 平成25年度海外研究助成者	生理学第一 岡田 誠剛 准教授	生理学第一研究員 : Naaz Andharia 課題「網膜色素変性症のK <sup>+</sup> チャネル発現ウイルスベクターによる遺伝子治療」	300,000

(単位 : 円)

## 大 学

## 平成25年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

平成25年度に募集のあった各種助成財団による研究助成金等が下記の研究者に贈呈された。

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人 大阪癌研究会 平成25年度一般学術研究助成	病理学第一 熊野 恵城 准教授	肺腺癌幹細胞の起源の違いに基づいた新たな治療標的の探索	1,000,000
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所 平成25年度共同利用研究 (UVSOR施設利用)(後期)	物理学 楠本 邦子 准教授	走査型透過軟X線顕微鏡による放射線耐性菌Deinococcus radioduransの観察	—
公益財団法人 森永奉仕会 研究奨励金	小児科学 平林 雅人 助教	子宮内環境が胎児遺伝子に及ぼすエピジェネティックな影響の 解明	500,000
公益財団法人 平和中島財団 2014年度国際学術研究助成	生理学第一 岡田 誠剛 准教授	K <sup>+</sup> チャネル遮断薬・開口薬の植物由来化合物からの探索	1,500,000
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所 平成26年度共同利用研究	医化学 片野 泰代 講師	caskin1-KOマウスを活用した精神疾患の中間表現型の解明	—
NPO法人J-CaP研究会更新研究費	腎泌尿器外科学 松田 公志 教授	限局性前立腺癌に対するホルモン療法の有効性に関する観察 研究	320,000
公益財団法人 聖ルカ・ライフサイエンス研究所 平成26年度研究助成金	内科学第二 宮坂 陽子 講師	日本人の心房細動患者における心血管イベント発症頻度とそ の予測因子に関する検討	1,000,000
国立大学法人東京大学 医科学研究所 平成26年度共同研究	外科学 海堀 昌樹 准教授	ヒト肝細胞がんに対する増殖型遺伝子組換えウイルスを用い た新治療法の開発研究	580,000
公益信託 福原心理教育研究振興基金 研究助成金	心理学 西垣 悦代 教授	心理学的コーチングを利用した医療者向け患者サポートプロ グラムの開発	1,000,000
公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団 平成25年度30周年記念研究助成金	病理学第一 上野 博夫 教授	肝障害後再生過程のマルチカラー細胞系譜解析を通じた障害 肝再生医療技術開発の基盤研究	10,000,000

(単位：円)



## キャンパスライフ

### 枚方学舎施設紹介



シミュレーションセンター(中央棟3階)

シミュレーションセンターは枚方学舎中央棟の3階にあり、模擬病室も完備した約300㎡のゆとりある広さの中に、86種類(平成26年4月現在)の機器を使い、基本的手技から専門的な技術やチーム医療の総合的な学習まで幅広く利用できる施設となっています。

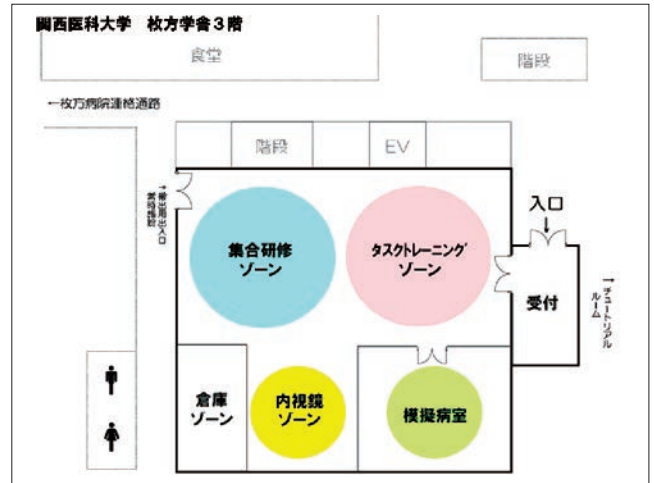
医学部での授業や研修医向けの講習に利用されているほか、医師、看護師、看護学生、コメディカルから一般職員まで幅広く利用することができます。

詳しい利用方法や保有機器の紹介などを本学卒業臨床研修センターのシミュレーションセンターホームページでご紹介していますので、ぜひご覧ください。

(<http://www.kmu.ac.jp/residency/carrier/kmusc.html> もしくは検索サイトで「関西医大 シミュレーションセンター」と検索して下さい。)

※1. センターを利用する、機器の貸出には申込が必要です。

※2. 24時間365日利用できます。ただし、平日9時～17時以外の利用を希望する場合は別途事前にご相談ください。



## 和やかなムードで和気あいあいと開催 留学生歓迎会



記念撮影で笑顔の参加者

5月12日(月)、午後6時から枚方学舎4階カフェテリアにおいて国際交流センター主催による『留学生歓迎会』が立食形式で開かれました。友田幸一副学長・国際交流センター長による開会の挨拶で始まった歓迎会では、インドや中国、ラオス、ベトナムなどの国々から来日した留学生9名を含む、日本人学生、教職員合わせて約40名が親睦を深めました。また、自己紹介のコーナーでは留学生の出身国に関する質問が飛び交ったり、子育てと勉学の両立に勤しむベトナムからの留学生が子守唄を披露したり、日本人学生が自身の留学経験に関するスピーチを英語で紹介したりと、終始穏やかな笑いの絶えないひと時となりました。

## 図書館入退館ゲート更新



ゲートは入口と出口、一方通行です。

枚方学舎3階にある附属図書館本館の入退館ゲートが7月から新しくなりました。

これまでは磁気読み取り型でしたが、入替えによりIC対応となり、学内のセキュリティシステムと同じタッチ式ですので、カードケースから取り出す必要もありません。またゲートはカードを認識すると自動開閉しますので、これまでより入退館がスムーズになりました。

## 病 院

## 附属枚方病院

## 安田看護部長が大阪府から表彰



同僚から記念の花束を贈られ、笑顔を見せる安田部長

5月10日(土)に看護の日(5月12日)記念行事の一環として、大阪府看護協会会館・ナーシングアート大阪(大阪市城東区)で「平成26年度大阪府看護事業功労者表彰式」が開催され、安田照美附属枚方病院看護部長が表彰されました。この賞は毎年、長年にわたって看護事業に精励し、大阪府民の健康維持と向上に貢献してきた看護職員(保健師・助産師・看護師・准看護師)に対して深い敬意と感謝の意を表すために贈られるものです。今年度は総勢50名の方々に表彰状が授与され、伯井俊明大阪府医師会会長はじめ浅田均大阪府議会議長ほか、多数の来賓から温かい祝辞が贈られました。

## 春季消防訓練の実施について

5月30日(金)午後3時30分から、春季の消防訓練が実施されました。開院以来、多くの職員に訓練を経験していただくことを目的に、毎回出火場所を変えての訓練を実施しておりますが、今回は10N病棟が出火階で、その直上となる11階の合わせて4病棟を中心に行われました。今回も参加したスタッフは本番さながら真剣に取り組み、充実した訓練となりました。訓練終了後には、地下ドライエリアにおいて、水消火器や屋内消火栓を使用した放水訓練も実施され、実際に取扱うことにより初期消火の手順を確認するよい機会となりました。



模擬消火器を用いた、初期消火訓練の様子

## 刺股・護身術講習会の実施について



刺股を使った実技訓練に取り組む参加者たち

4月24日(木)午後5時15分から、附属枚方病院13階合同カンファレンスルームにおいて参加者76名のもと、刺股・護身術講習会が実施されました。枚方警察署から3名の警察官を講師に迎え、刺股の使用方法や、参加者同士で実際に刺股を使用し、実技訓練を受けました。また、最近多発傾向の痴漢被害に対応する護身術についても、説明と実技が行われました。参加者からは「刺股の使用方法を今まで知らなかったが、今回の講習でよくわかった。今後はいざという時に使ってみたい」等のコメントが多く寄せられていました。講習会最後には、枚方警察署から「ひたたくり防止カバー」が配られ、参加者は防犯意識を高めるよい機会となりました。

## 病院にも“おもてなし” インフォームドコンセント講習会

5月26日(月)午後5時15分から、附属枚方病院13階講堂において医療安全講習会「わかりやすいインフォームドコンセントで紛争0(ゼロ)」が開かれました。テーマはインフォームドコンセント(説明と同意)。その定義や役割、目的から、説明が求められる項目、そして患者さんへの話し方、接遇方法まで幅広く附属枚方病院医療安全管理部の宮崎浩彰副部長が講演され、また、医療安全管理部作成の動画上映や、参加者同士のディスカッションもあり、会場は活気に溢れていました。

参加した研修医は「(医師や看護師が)忙しくしていると患者さんも質問しづらくなり、十分な説明ができない。そういう面でも相談しやすい空気づくりが大切だと感じた」と語っていました。



熱心に講師の話に聴き入る参加者たち



## 病 院

## 附属滝井病院

## 先端医療と現場の架け橋… 「循環器救急フォーラム」が開催



救急隊員の熱気に包まれたフォーラム会場

5月29日(木)午後5時30分から、ホテル・アゴーラ大阪守口において附属滝井病院主催「第4回循環器救急フォーラム」が開催され、守口市・門真市をはじめ大阪市、交野・枚方・寝屋川・大東・四條畷各市の救急隊員が数多く参加しました。岩坂壽二病院長の開会挨拶で始まったフォーラムでは、循環器内科山本克浩講師が「心筋梗塞の救急措置の変遷」をテーマに冠状動脈の構造や心筋梗塞に特徴的な心電図波形、そして治療法の歴史までを分かりやすく解説。続いて救急医学科診療部長中森靖准教授による特別講演「Hybrid Emergency Roomの開発」では、近年救急医療の現場で普及が進むCTスキャンによるスクリーニングのメリット、実績の紹介と解説があり、救急隊員は最先端の

救急救命医療について熱心に耳を傾けていました。その後質疑応答を経て、本学内科学第二講座・塩島一朗教授の閉会の言葉をもって、フォーラムは盛会裏に幕を閉じました。

## 第二回滝井血管病セミナー開催

4月4日(金)午後6時から、附属滝井病院南館2階臨床講堂において、血管病に対する世界レベルの知識を学ぶことを目的に、附属滝井病院血管内治療センター主催の「第二回滝井血管病セミナー」が開催されました。神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科の坂井信幸部長を講師として招聘し、「脳動脈瘤に対する血管内治療の現状と今後」と題して講演があり、参加者が89人という大盛況を呈しました。

なお、血管内治療センターでは、今後も定期的に血管病に携わる著名人を講師として招きセミナーを続けていく予定です。



本学OBでもある坂井部長

## 医療安全週間の標語入選作発表

附属滝井病院では6月16日(月)から6月22日(日)まで春の医療安全週間を実施し、その一環で教職員から『患者誤認防止』に関する標語を募集しました。医療安全管理対策委員・セーフティマネージャーによる厳正な審査の結果、3作品が選ばれ、6月24日(火)附属滝井病院南館2階臨床講堂において岩坂壽二附属滝井病院長から表彰されました。

よくみてね。 一文字違いで 別人だ! (6E 山田 蘭)

フルネーム 聞いて名のって 誤認予防 (6S 居藏 貴子)

声だして みんなで防ごう! 患者誤認 (5S 坂本 愛、橋本 彩那、渡部 樹子)



## 病 院

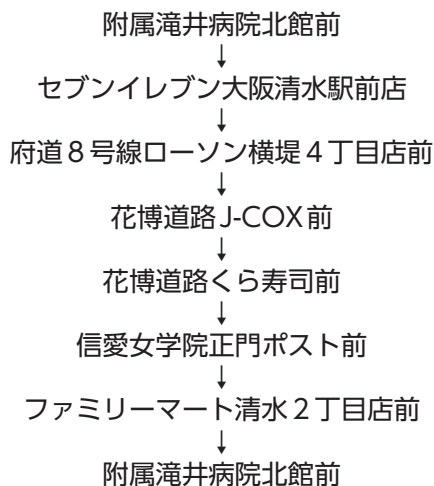
## 附属滝井病院

## 患者送迎用バスルート拡がる(5月から鶴見区方面へ10月から大日方面へ)

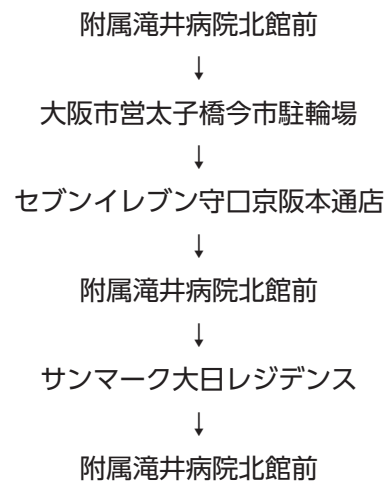
5月7日(水)から患者送迎用無料巡回バス2号車による鶴見区方面の運行がスタートしました。運行時間は午前8時～午後4時最終出発(土曜は午後1時)、1時間に1便の運行となります。滝井病院到着は毎時55分を予定しています。

また、10月から、患者送迎用無料巡回バス1号車(太子橋方面行き)のルートが大日駅周辺まで、延長する予定です。

## 鶴見区方面への2号車運行ルート(5月7日運行開始)



## 大日方面への1号車運行ルート(10月運行開始予定)



## 香里病院

## 第7回 寝屋川市医師会・香里病院 地域連携の会開催

4月19日(土)午後4時から、ホテル・アゴーラ大阪守口において寝屋川市医師会と香里病院との地域連携の会が開催され、寝屋川市医師会から34人、香里病院からは33人の参加がありました。

廣原淳子副病院長と早川貫治寝屋川市医師会会長の挨拶があり、学術懇談会は、高橋延行地域連携部部長が座長



会の冒頭に挨拶を行う早川寝屋川市医師会会長

を務め、症例呈示として外科の金成泰講師が「胃癌術後長期生存しているPStageIV症例」、内科の高橋延行准教授が「IgA腎症の経過観察中に味覚障害、脱毛、手指の色素沈着、下痢を来した症例」、耳鼻咽喉科の濱田聡子助教が「当科における好酸球性副鼻腔炎の検討」の症例呈示が行われました。続いて附属滝井病院末梢血管外科の駒井宏好診療教授による教育講演「明日からの診療に役立つ血管病の診断と治療」が行われました。

懇談会終了後の懇親会では、寝屋川市医師会より6月から変わる医師会役員の紹介があった他、香里病院からは新しく着任した医師の紹介が行われました。

## 日本センチュリー交響楽団による院内コンサート

5月31日(土)午後2時から、香里病院2階エントランスにおいて院内コンサートを開催し、75名の方が参加されました。プロの奏者を招いてのコンサートは今回が初めてで、弦楽4重奏による「マイフェアレディ」を皮切りに、「川の流れるように」などの誰もがなじみのある曲目を中心に演奏が進められました。生演奏の迫力を聴衆の方々は大いに楽しんでおられました。

## 卒後臨床研修センター

### 臨床研修合同説明会の開催

講堂で説明を聞く参加者



4月19日(土)午後4時から附属枚方病院13階講堂、レストラン「のぞみ」において、平成27年度採用の初期臨床研修合同説明会を医学部6年生を対象に実施しました。

本学学生31名に他大学3名の34名が参加し、情報交換会では35名の指導医の先生と和気藹々とした雰囲気の中で、各診療科の説明を聞き、盛会裡に終了しました。

### 後期研修医説明会『レジナビフェア2014 For Resident in 大阪』出展

本学ブースの様子



4月27日(日)午前12時から、ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(グランフロント梅田)において、後期研修医向け研修病院説明会があり2回目の出展を行いました。今回は253名が参加し、本学ブースには昨年から10名増えた25名の来訪がありました。

今回は出展診療科も7科から9科に増えたことで、研修医のニーズにも応えられ、各科ともパソコン、タブレット端末を駆使した有意義な説明会となりました。また、今回、研修医、後期研修医を主とした説明会でしたが、医学生も14名参加しており、6名が本学ブースに訪れました。

### 後期臨床研修合同説明会の開催

各科ブースの様子



5月31日(土)午後4時から、附属枚方病院13階合同カンファレンスルームにおいて、各科合同の後期臨床研修説明会を科別のブース形式にて開催しました。昨年は47名の参加がありましたが、今年は昨年来訪した1年生が参加を見合わせたため、学内研修医13名、学外病院研修医6名の19名の参加に止まりました。ブースには20の診療科から出展があり、パソコン、モニター、シミュレーター等を巧みに利用した後期研修への説明で、参加者に感動を与えるほどの熱き指導となりました。

### 3病院看護部の合同 看護職臨地実習指導者研修

グループワークの様子



5月10日(土)午前9時から、附属枚方病院13階講堂において講師として教育・研修コンサルタント「ダブルアイズ」代表岩井美詠子氏を招聘し、『聴き上手、話し方上手、引き出し方上手になろう』をテーマとして、学生教育を担う臨地実習指導者の育成のため、コミュニケーション能力の向上を目的に研修会を開催しました。

体験型学習やグループワークを通じて、話し方、聴き方、引き出し方、褒め方、叱り方などの手法を学びました。

### 3病院看護部の合同 看護職実地指導者研修

講師の実演を交えた



6月14日(土)午前9時から、附属枚方病院13階講堂において講師としてOffice SMC代表木村卓氏を招聘し、『チームワーク、コミュニケーション力を高めよう』をテーマに、コミュニケーション能力の向上を目的として研修会を開催しました。新人看護職員の教育に活かすため参加者は、体験型学習を通じてコミュニケーションや情報共有の重要性、モチベーションコントロールなどを学び有意義な研修となりました。



## キャップに宿る決意 ―平成26年度附属看護専門学校戴帽式―



ナイチンゲール誓詞を朗唱する戴帽生

5月13日(火)午前10時から枚方学舎加多乃講堂において、山下敏夫理事長・学長をはじめ来賓、保護者、岡崎和一学校長ほか教職員、看護学校生多数の参加を得て、附属看護専門学校の「平成26年度戴帽式」が挙行されました。

本校の戴帽式は、本格的に病院での臨地実習を始める2年生に、看護師の象徴であるナースキャップを授与し、看護師としての職業に対する意識を今一度高め、その責任の重さを自覚してもらうために実施しています。看護学科・34期生81名にナースキャップが授与され、学生一人一人が持つ蠟燭に光が灯される中、ナイチンゲール誓詞が朗唱され、学生たちは自らが目指す夢や希望に、思いを新たにしている様子でした。

## 身近な犯罪から身を守る 防犯訓練講習会



警察官の指導を受けながら実技練習に取り組む学生たち

5月14日(水)午後2時40分から、牧野キャンパス体育館にて『ちかん撃退法等防犯訓練講習会』が開かれました。これは毎年大阪府警の協力を得て開かれるもので、今回は看護学科1年生82名が参加。枚方警察署生活安全課による枚方市内の犯罪発生状況に関する講話や、大阪府警生活安全指導班によるひったくり・ちかん対策のコメディ風寸劇が演じられました。府警の担当者はちかんなどに襲われた場合の対処法を話しつつ「ひと気のない場所には近づかないなど、まずは被害にあわないための心がけが大切」と講演。また、実演と実技を交えて護身術を学ぶ時間もあり、ユニークな講演に笑いが起こりつつも、真剣な面持ちで受講する学生の姿が見られました。

## 平成27年度附属看護専門学校入学試験について

### 推薦入学試験

#### 募集人員

・40名

#### 出願期間

・平成26年11月1日(土)～11月7日(金)

※当日消印有効

#### 試験日時

・平成26年11月15日(土)午前9時開始

#### 試験科目

・学科試験(50分)

国語総合(漢文・古文除く)

・小論文(50分)

・面接試験

#### 試験場

・本校(大阪府枚方市宇山東町18番89号)

#### 合格発表日

・平成26年11月21日(金)

### 一般入学試験(前期)

#### 募集人員

・30名

#### 出願期間

・平成26年12月1日(月)～12月19日(金)

※当日消印有効

#### 試験日時

・平成27年1月9日(金)午前9時開始

#### 試験科目

・学科試験(各50分)

国語総合(漢文・古文除く)、現代文

英語Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ

・面接試験

#### 試験場

・本校(大阪府枚方市宇山東町18番89号)

#### 合格発表日

・平成27年1月23日(金)

### 一般入学試験(後期)

#### 募集人員

・10名

#### 出願期間

・平成27年1月26日(月)～2月6日(金)

※当日消印有効

#### 試験日時

・平成27年2月17日(火)午前9時開始

#### 試験科目

・学科試験(各50分)

国語総合(漢文・古文除く)、現代文

英語Ⅰ・Ⅱ

・面接試験

#### 試験場

・本校(大阪府枚方市宇山東町18番89号)

#### 合格発表日

・平成27年2月27日(金)

出願書類など詳細は本校ホームページ (<http://www.kmu.ac.jp/nurscoll/juken/>) をご覧下さい。



## 須藤昭子先生の軌跡 — 結核、国際医療協力、終末期医療 —

同窓会理事 西山 利正 (50 回生)

今回私は、今年度の関西医科大学大学案内作成のため、本学学生とともに東京に帰国されている須藤昭子先生(17回生)取材することができました。

みなさん、須藤昭子先生をご存知ですか？ 須藤先生は本学を昭和24年にご卒業になり、以後結核医療に専念されてきました。須藤先生が本学をご卒業になられた昭和20年代はわが国において結核は国民病と言われ、その感染力、致死率から当時の医学部を卒業された優秀な医師達が、こぞって専攻した領域であります。今のがん治療や、遺伝子研究領域みたいなものですね。また本学卒業後すぐにカトリックのシスターになられ、兵庫県の西宮にあったカトリック系の結核療養所クリスト・ロア病院(兵庫医科大学付属病院の前身)に勤務しておられました。ここで先生は医師として当時の先進的な結核治療技術を、またカトリックの聖職者として患者様の精神的ケア(ともすれば萎えてしまうような病んだ心)を、身心両面で支援し、多くの患者様に手を伸しておられたようにお聞きしました。その後、わが国では結核は減少の一途をたどり、先生は、昭和51年より、なお結核の猛威が続いているハイチ共和国に活動の場を求められました。先生はハイチ国立シグノサナトリウムで所長として30数年にわたり医療を行われました。ここでも、先生は献身的に結核患者の治療を行い、ハイチの方々から「マザースドウ」と畏敬の念をこめて呼ばれていたと聞いております。先生の活動は国際的にも高く評価され、国際医療協力分野ではハイチに須藤ありとまで名前が通っておりました。また、先生は2010年ハイチを襲った大地震でさらにお忙しくなられ、地震で崩壊したハイチの復興に尽力され、海外からの緊急医療援助チームとともに、医療面で多大の功績を残されました。

現在先生は日本に帰国され、静岡県ホスピスでがんの末期患者様と共に、先生の医師としてまた、宗教家としての集大成を行おうと、元気に活動しておられます。先生の今後の活躍をお祈り申し上げます。

(関西医科大学公衆衛生学講座教授)



右から 牛尾さん(5学年)、須藤先生、小生、長井さん(5学年)  
東京都三鷹市クリスト・ロア教会に於いて(平成26年5月18日)

## メディア情報

## 教職員メディア情報

新聞・雑誌・テレビ等マスコミの取材、テレビ出演、また記事を掲載された教職員の方々を紹介します。  
(主に平成26年4月1日～6月30日 ＊判明分のみ)

病理学第一講座 上野 博夫 教授	読売テレビ 「真相報道バンキシャ」 (4月20日)	STAP細胞の問題を検証するコーナーに出演し、その可能性について「振り出しに戻った」との感想を述べました。
健康科学教室 木村 稔 教授	日本経済新聞 (4月21日朝刊)	ITを活用した健康増進に役立つ製品サービスの特集において、監修したソフトウェアが紹介されました。
法医学講座 赤根 敦 教授 橋谷田真樹 講師	中日新聞 (4月27日朝刊)	小中学生面「新聞で学ぼう」欄に、犯罪捜査における個人特定を目的としたDNA鑑定の活用と技術の進歩、問題点について、コメントが掲載されました。
病理学第一講座 上野 博夫 教授	読売テレビ 「News ZERO」 (6月16日)	理化学研究所・小保方晴子ユニットリーダーが作ったとされるSTAP細胞がES細胞である可能性を報じたコーナーで、提供したES細胞の画像が使用されました。

\*このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではございません。

## お知らせ

## 86年の時を超えて、輝く関西医大 創立記念日



正午、太陽の光を浴びた銘板が輝きました。

6月30日(月)、本学は86年目の創立記念日を迎えました。校方学舎正面にあるオベリスクには、中央に開けられたスリットを通る太陽光が毎年この日の正午、真下にある大学名の刻まれたプレートに照らす仕掛けが施されています。当日は生憎の曇り空でしたが、幸いにも正午前後に太陽が雲間から顔を出し、プレートを輝かせました。

また、今年から創立記念日が出勤日となったこともあり、多数の教職員がその様子を眺めていました。

## 編集後記

近畿地方では去年より13日も遅く梅雨が明けたようですが、ほぼ平年並みの梅雨明けらしいです。しかし近年の梅雨は、一昔前のように途切れなくシトシトと降り続けるものではなく、災害を引き起こす程の局地的に豪雨を伴う異常気象とも思える降り方が多いように感じられます。

梅雨が明ければ夏本番、騒音とも思えるクマゼミの激しい鳴き声に送られて出勤する今日この頃ですが、猛暑日や真夏日となっても負けないよう、暑さ対策をしっかりして、この夏も無事に乗り切りたいものです。

(A.T)

## 今日の定食は??—学食メニュー公開中—



校方学舎3階学生食堂は4月から、第1,3,5土曜日にも営業しています。現在HPで今週の学生食堂のメニューを公開しています。詳細は(<http://www.kmu.ac.jp/target/gakusyoku.html>)もしくは「関西医大 学生食堂」と検索をご覧ください。

## 関西医科大学広報 Vol.26

発行 学校法人 関西医科大学  
編集 法人事務局総務部広報課  
〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1  
TEL 072-804-0101 (代表)  
FAX 072-804-2547

<http://www.kmu.ac.jp>  
E-mail [kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp)  
平成26年8月12日(火)発行